

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。
毎月、かんぽ生命がお届けします。

かんぽスコープ

Vol.161



サーチファンドの可能性。 中小企業の事業承継に、第4の方法が登場。

親族承継、従業員承継、M&A:

どれもできない、あるいは、したくない。そんな場合の第4の選択肢として「サーチファンド」が注目されています。サーチャーとよばれる経営者候補が、ファンドから資金を得て後継者になるこの方法。事業承継に悩む経営者にとって、救世主となる可能性があります。そこで今回は、日本で初めて※1サーチファンドによる事業承継を成立させた山口キャピタル株式会社取材。今後、サーチファンドを活用した事業承継が増えることを見越して、その仕組みや利点をいち早く伝えます。

事業承継の難題を解決するサーチファンド。

「これまで解決できなかった課題に対処できる、新たな仕組みが必要だったのです」と語るのは、山口キャピタルの伊藤忠志社長。同社



「全員が幸せになれる取り組みにしたい」と語る伊藤氏。

は、山口銀行など3行※2を中核とする山口フィナンシャルグループの投資専門会社。投資を通じて、地域の企業の成長を促し、地域経済を活性化させることを使命としている。

「その中で、事業承継も重要なミッションなのですが、2018年の後継者不在率調査※3で、山口県がワースト2位になりました。何とかしなければと検討を始めました」

後継者不在の企業は、まず、親族内に適任者がいない。そして、役員・従業員への承継も難しく、そのケースで廃業を避けようとする。M&Aを考へることになる。しかし、会社を売却した場合、従業員の雇用が守られるのか、地域とのつながりが維持できるのか、不安が募る。

「特に、これまで築いてきた企業文化や、のれんが失われることを心配する経営者は多いですね」
これでは答えがない。そこで着目したのがサーチファンドだ。

「この人になら、わが社を任せられる」と決断。

サーチファンドはアメリカが発祥。経営者志望の人(サーチャー)が、投資家から資金を集めてファン

ドを組成。そして、経営したい企業を探し、その会社の株式を購入して経営権を取得する。このモデルを土台に、山口キャピタルは、事業承継のソリューションとして再構築した。

「アメリカのサーチファンドは、企業買収の一種で、最後は高値で売却することが目的です。それに対して、われわれのサーチファンドがめざすのは、地域の企業の持続的な成長です。ファンドの資金で株式を取得し、事業承継したサーチャーは、その企業を営み続けることが求められます」

サーチャーは、地域の外からやって来ることが多い。だからこそ、その地に「骨をうずめる」覚悟で経営に取り組むのだ。

ここで、その事例を紹介しよう。山口キャピタルの「地域未来共創Searchファンド」(以下、共創ファンド)が23年2月に成立させた、三笠産業株式会社(山口市)の事業承継だ。

三笠産業は、従業員約250人

を擁する地域の中核企業。農業生産資材や機能化学製品、加工食品などの事業を幅広く展開する。前社長(現会長)の佐伯誠氏は、当初はM&Aも考えたが、同社の多角的な事業を丸ごと引き受けてくれる相手は見つからなかったという。そして、共創ファンドを通じて出会ったのが、サーチャーの唐澤宏誌氏だった。



三笠産業の佐伯会長(左)と唐澤社長。本社玄関前にて。



山口キャピタル株式会社 〒750-8603
山口県下関市竹崎町4-2-36
☎082-236-0165
<https://yamaguchi-capital.co.jp/>

※1 2020年2月に第1号案件成立。現在(2023年6月)まで、7件の事業承継が成立している。なお、「日本で初めて」は、山口キャピタルの調査による。
※2 山口銀行(山口県)、もみじ銀行(広島県)、北九州銀行(福岡県)。 ※3 帝国データバンク「全国「後継者不在企業」動向調査(2018年)」。



を磨いてきた。総合商社に10年以上勤務し、幅広い知見を蓄積。複数の事業会社へ経営支援を行った経験もあり、中小企業診断士や証券アナリストの資格も保有する。

佐伯氏は、面談を重ねる中で、唐澤氏が単に優秀で意欲的なだけでなく、経営理念を受け継いでくれるこ

とを確認。70年を超える歴史をもち、多角経営を行う同社を「任せられる」と確信したという。

地域金融機関が全面的にサポート。

さて、サーチャーには、どのような人がなるのだろうか。

「唐澤さんのような若手で有能な人もいれば、セカンドキャリアとして、地方に移住して会社を運営したいという40〜50代の人もいます。例えば、大手企業の部長クラス、中堅企業の役員、金融系法人営業のトップセールスの人などです」

共創ファンドで企業探索を行っているサーチャーは、現在約10名^{※4}。そして、その背後には、200名を超える候補者がいて、独特な評価制度により厳選されるのだという。

「ただし、いくら能力が優れた人でも、実際に事業承継が決まるかというところではありません」

伊藤氏は、「サーチファンドは、社長とサーチャーの“お見合い”のようなもの」と語る。双方が意気投合して、速やかに成立することもあれば、何回、何人面談しても、なかなか決まらないこともある。

“お見合い”だから、M&Aと違い、周囲に知られずに進められることもメリットだ。サーチャーに対して、段階を追って企業情報を開示し、徐々に関係を深めることができる。

「ときには、サーチャーがインタビンのような形で企業に入り、企業の実情を知り、また、従業員と親睦を深めることもありますよ」

そして、共創ファンドの最大の利点は、地域金融機関が主導していることにある。その地に縁のないサーチャーが、いわば落下傘型で事業承継するわけだが、その際に、地域の特性や慣習、業界事情などを金融機関が教えることができる。

「また、金融機関には、地域経済を支える使命がありますから、融資など資金面はもちろん、さまざまな情報やノウハウ、人材を提供し、承継企業を全面的にサポートします」

共創ファンドの場合、地域金融機関では、山口フィナンシャルグループの3行のほか、十六銀行、南都銀行、百十四銀行、愛媛銀行、千葉興業銀行が出資している。これらの銀行の営業エリアにある企業の事業承継を支援しているので、関心がある方は問い合わせしてほしい。

※4 ファンドから資金供給され専業として企業探索を行っているサーチャーと、本業の傍ら企業探索を行っているプレサーチャーの合計人数。

長寿の7大敵を撃退

① 体内のコゲ(AGE)を防ぐ



監修=栗原毅

慶應義塾大学大学院教授を経て、栗原クリニック東京・日本橋を開院。「血液サラサラ」の名付け親のひとり。『栗原式 不老長寿大全』など著書多数。

老化の原因物質「AGE」

こんがり焼けたホットケーキ。そのキツネ色の部分が、実は老化を促進する原因物質「AGE」だと聞くと驚きますね。AGEとは、タンパク質が加熱されて糖と結びつき、変性したものです。これが、私たちの体をつくっているタンパク質を劣化させてしまうのです。

例えば、コラーゲン線維。体内のタンパク質の約30%を占め、肌の弾力性を保つなど重要な働きをしていますが、AGEは、この線維をでたらめにつなげて硬くします。年をとると肌に張りがなくなるのはAGEの影響ですし、肌が黄色くくすむのはAGEの茶褐色が透けて見えるからです。

そして、血管もコラーゲン線維からできているので、AGEは動脈硬化の原因になります。また、がんの発生や転移、アルツ

ハイマー型認知症、白内障、骨粗しょう症と、加齢に伴う疾病の多くにAGEが深く関与しています。

「AGE」を取らない、つくらない

AGEは、簡単に言うと「タンパク質のコゲ」。高温で調理した肉に多く含まれます(右表参照)。もちろん、食べたものが全て体内に取り込まれるわけではなく、消化・分解されてほとんどのAGEは消失します。しかし、それでも0.6%程度は残留し、年齢とともに蓄積されていきますから、長い目で見れば、AGEを含む食品をなるべく避けるのが賢明でしょう。

さらにAGEは、体内でも生成されます。血液に乗って流れてきたブドウ糖がタンパク質組織にからみつき、AGEがつくられてしまうのです。これを防ぐには、血糖値が上がりにくいように、炭水化物(糖質)

の摂取を控えることが大切になります。

さて、この連載の初回では、話題のAGEを取り上げました。長寿の秘訣は、まだまだあります。これから全7回にわたって、順番にお話ししていきましょう。

AGE値の高い食品の例

フランクフルト(5分焼く)	10143KU/90g
チキンカツ(25分揚げる)	8965KU/90g
チキンナゲット	7764KU/90g
ピザ	6825KU/100g
鶏胸肉(8分揚げる)	6651KU/90g
ローストビーフ	5464KU/90g
ソーセージ(電子レンジで1分加熱)	5349KU/90g
ハンバーガー	4876KU/90g
マグロ(しょうゆにつけて焼く)	4602KU/90g
チーズサンド(焼く)	4333KU/100g

*アメリカ栄養士会の発表より。

(注)

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただきますようお願いいたします。